

ときえのチャレンジノート

No.21 2025/4 発行

品田ときえ事務所
旭川市春光台2条3丁目
7-21 Tel&Fax 53-9341
メールアドレス
humituki.7.tokie
@icloud.com



この街に、笑顔の花を咲かせたい。

公共施設の LED 化が、物価高騰対策??? 給食費値上げ！飲食業・農林水産業への支援無し!!

旭川市の今年度の一般会計の予算は、総額で1801億4千万円と昨年度より85億7千万円、率にして5%多く、過去最大の規模となっています。

実はこの一般会計予算には、12月に国から示された「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の限度額」のうち、地域の実情に応じて独自の対策に活用できる「推奨事業メニュー分」(約10.5億円)の半分以上=約5.8億円が加えられています。

この交付金は、名称の通り「物価高騰対策」交付金で、国から推奨メニューが生活者支援・事業者支援の合計8項目が示され、速やかに実施されるべきものです。(右上参照)

本来、1月の臨時議会でメニューを示して実施すべき対策を、半分以上を一般会計に加えて対策遅延。しかも公共施設のLED化に1.1億円も計上!!これって、物価高騰対策?

国政に逆行し、給食費値上げ!! 予算修正案を提出するも、自公与 党により否決。市長は値上げしな いと市民に虚偽説明!?

国が給食費無償化推進を決めたとの報道の中、旭川市は給食費の値上げを決めました。

今年度値上げ分1.7億円は交付金を充当し、前々年度値上げ分1.1億円分は、保護者負担とし、小学生～中2までは5,400円、中3は5,100円の値上げです。値上げ反対の質問に返ってきた答弁は、「18歳以下の子育て世帯には、交付金から5千円支給されている」。

乳幼児と高校生は交付金の恩恵があり、小中生は赤字?しかも、中学生の自転車通学はヘルメット着用が義務化され、制服等も値上げラッシュの中!?

「子育て基金の活用」を提案するも、否決。

でも、今津市長は、勘違いからか「値上げしない」と明言していた事が判明しています。

「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」

推奨メニュー8項目

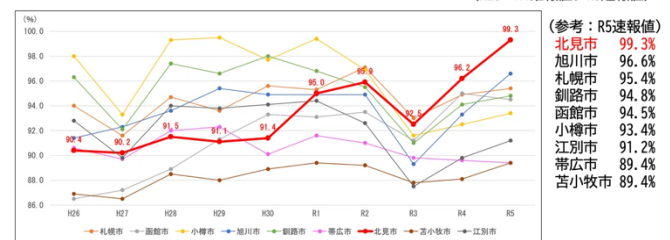
- ・「エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う低所得世帯支援」
- ・「同上 子育て世帯支援」
- ・「消費下支え等を通じた生活者支援」
- ・「省エネ家電等への買い換え促進による生活者支援」
- ・「医療・介護・保育施設・学校施設・公衆浴場等に対する物価高騰対策支援」
- ・「農林水産業における物価高騰対策支援」
- ・「中小企業等に対するエネルギー価格高騰対策支援」
- ・「地域公共交通・物流や地域観光業等に対する支援」

旭川市財政も危機!! 市債昨年比52億増 財政調整基金はこの3年間で50億減少 北見市に次ぐ 経常収支比率悪化!!

3. 見通しの背景

道内の人口10万人以上都市の経常収支比率の推移

(H26～R4確報値、R5速報値)



経常収支比率: 「経常的収入のうち一般財源」に対して、どの程度「経常的支出に充てられる一般財源」になっているかを示す比率

◎ 令和3年度から急激に悪化!!

旭川市の今年度予算の名称は「暮らしの安心と未来への投資両立予算」→数字のマジックが散見される予算でした。

確かに高校生の医療費無償化など、評価出来る施策もありますが、今年9月に実施される市長選挙を意識してのバラマキとの指摘もあります。人口減少の中、大規模体育館が2館も必要か!? 未来に禍根を残すことのないように、しっかり監視していきます!!

春光台公園の『風の子館』を 残そう！！～解体撤去の見直しを～

2023 年 5 月から使用禁止になっている「風の子館」が解体撤去されて、遊具メーカーのプラスチック製遊具に置き換えられることを知って、昨年の 3 定で質問しました。

「風の子館」は、春光台の高低差と背景の樹林を生かしてデザインされた、日本で初めての木製屋根付き遊具です。

春光台の住民だけでなく、多くの市民に親しまれ愛されてきた建築物ですが、近隣住民にも知らされず、取り壊されるところでした。

建築専門家と木製品腐朽防止等を研究している林産試験場の専門家の方々に検分をしていただき、「全体の構造は十分使用できる状態で、部分の傷みにより全体を取り壊し置き替えるのは早計と考えられる」との意見書を提出いただきました。

「春光台公園風の子館を守る有志の会」を立ち上げ、要望書提出やチラシ配布等を行なって、市から再点検を行うとの返事をいただきましたが、どこに委託するのか等定かではなく、予断が許せません。

チラシを同封しています。賛同・応援いただける方は、ご連絡下さい。🙏



パークゴルフ場の

「午後割」の試行実施の利用を！！

昨年の第 3 回定例会で、パークゴルフ場の利用料金について質問をしました。

令和 2 年 4 月からの料金改定の影響により、利用者が明らかに減っていますが、市は認めようとしません。利用減の理由を新型コロナの影響とプレイ人口減と主張しますが、近隣町の利用状況と比較すると、料金改定の影響が大きいことは明白です。

4 年をめどとした見直しを質したところ、「令和 8 年 10 月には、令和 4 年度以降の 3 年間のコストを用いて料金改定に向けた取り組みを進める」との答弁で、さらなる値上げしか出てこないように思えます。

今年度「午後割」を実施し、利用料金見直しの検証とする旨の回答を得ました。

料金と利用状況を検証する施策です。1～2 ヶ月の期間限定なのは残念ですが、今後に繋がりますので、皆さまぜひご利用下さい。

全国シェルターシンポ ジウム 2024 in KOBE

昨年 11 月 23・24 日、神戸で開催された標題の大会に参加してきました。

DV 被害などの困難を抱える女性たちのシェルターを運営する民間団体を中心としたネットワーク「特定非営利活動法人 全国女性シェルターネット」主催です。

第 26 回となる今回のテーマは「女性支援の新時代へ 住まいは人権 ～ハウジングファーストから始まる女性の回復支援」です。



民間シェルター実践報告は、六甲ウィメンズハウス（ミモザハウス）の紹介と取組です。

困難を抱える女性と子どもたちが、「ここにしか住めない」ではなく「ここに住みたい」と思える住まいを目指して、NPO と民間企業が提携して創った新たな女性支援です。

(大会翌日に見学させていただきました。全室家電と IKEA の家具付。1 階は商業スペースになっていて、歯科医院やスーパーで働くことが出来ます。

代表理事の正井禮子さんの娘さんが子どもの頃、お母さんの理想のシェアハウスを絵に描いたのとそっくりなハウスになっています。)



パネルディスカッションの後、交流会にも参加。福山哲郎衆議院議員が DV 被害者だったという、思わぬ過去を知りました。

分科会は、「デジタル化・スマホ必携が進む社会と DV 性暴力」に入り、デジタルコントロールやセクストネーション（性的脅迫）等、増えている被害実態とそんな被害の相談対応をしている団体＝ぱっぷすの活動に学びました。

昼休憩には「ランチミーティング」。

そして、全体シンポジウムは「議員フォーラム」と盛り沢山の内容で、学ぶことが多く、特に、被害を受けた女性やシングルマザーが、尊厳ある生活を始めるために、「住まい」がいかに重要かを考えさせられる大会でした。

